

Vol.19(2021) No.23(11/11)L04

12～18歳の青少年のCOVID-19による入院に対するファイザー社/ビオンテック社製 mRNA ワクチン接種の有効性 — 米国, 2021年6～9月

[Effectiveness of Pfizer-BioNTech mRNA Vaccination Against COVID-19 Hospitalization Among Persons Aged 12–18 Years — United States, June–September 2021](#)

Olson SM, Newhams MM, Halasa NB, et al.

[MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2021 Oct 22;70(42):1483-1488]-peer reviewed (査読済み)

(要旨)

ファイザー社/ビオンテック社製COVID-19ワクチンは、米国食品医薬品局(FDA)により、12～15歳の青少年での使用が許可されており、また16歳以上に対する使用が正式承認されている。無作為化プラセボ対照試験^Aでは、12～15歳の外来患者においてCOVID-19への100%[95%信頼区間(CI)[75.3～100]]の有効性が示されている。しかし、COVID-19ワクチンのリアルワールドでの青少年に対する有効性(VE)データは、特に入院患者においては限られている。2021年9月初旬に、米国でCOVID-19により入院した小児患者数は、パンデミック開始以降、最高レベルに達した。

2021年6月1日～9月30日に16州の小児病院19施設で実施した診断陰性例コントロール研究において、12～18歳の青少年を対象に、COVID-19による入院に対するファイザー社/ビオンテック社製ワクチン2回接種の有効性を評価した。12～18歳の入院患者464人(症例患者179人, 対照患者285人)の年齢の中央値は15歳で、72%が肥満を含む基礎疾患を少なくとも1つ有し、68%が対面授業を受けるため通学していた。COVID-19による入院に対するファイザー社/ビオンテック社製ワクチン2回接種の有効性は、B.1.617.2(デルタ)変異株が主流であった期間に93%(95%CI[83～97])であった。

今回の評価により、12～18歳のCOVID-19による入院を防ぐ上でファイザー社/ビオンテック社製ワクチンの2回接種が非常に効果的であることが実証され、米国の青少年をCOVID-19の重症化から防御するためにはワクチン接種が重要であることが強く示された。

^A NIHS 医薬品安全性情報 [Vol.19 No.23\(2021/11/11\)L01](#) 参照